

「ビジネス情報」 シラバス

教科	科 目	単位数	学年	学 科	校	教	頭
商業	ビジネス情報	3単位	2年	情報処理科(必修)	長		

教科書	ビジネス情報(実教出版)
副教材	全商情報処理検定模擬試験問題集「ビジネス情報1級」(実教出版)

1. 学習の目標

- ①業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークの導入と運用及びデータの保護を取り扱い、オフィス業務において情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識と技術を習得する。
- ②ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。
- ③ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなど積極的に推進する創造的な能力と態度を身につける。
- ④全商情報処理検定試験「ビジネス情報部門1・2級」取得

2. 学習方法

- ①教科書や副教材を活用して基礎的・基本的知識を習得する。
- ②理論とソフトウェアによる実践的な分析技法をバランスよく学習する。
- ③学習内容のまとめり毎に検定問題に取り組み、知識の定着を確認する。

3. 評価方法

- ①定期考査
 - ②問題集・ワークシート
 - ③授業態度
 - ④検定試験
- 以上を総合的に判断する

学習計画

月	配当時間	単 元 名	学習のねらい	考査 検定
4	9	○ オリエンテーション 3. 表計算ソフトウェアの活用 (1)集計処理 (2)オペレーションズリサーチの基礎	・年間の学習計画や目標となる検定等について把握する。 表計算ソフトウェアを活用して、さまざまなビジネスの情報を管理、分析し、用務に役立つ合理化や自動化についての知識、技術を身につける。 ・ワークシート間の集計やグループ集計、クロス集計などの技法を理解する。 ・オペレーションズリサーチの基礎を学習し、シミュレーションや線形計画については、ゴールシーク、ソルバーなどの機能を活用しながら、待ち行列や回帰分析の技法を交え、与えられた条件下における最適の解を導き出す手法を理解する。	中間 考査
5	10	(3)ビジネス計算 (4)手続きの自動化 1. ビジネスと情報	・販売分析についてはグラフを用いたデータの分析方法を理解する。また、財務分析については財務関数などを用いた分析方法を理解する。最終的に販売・財務管理に活用する総合的な能力を身に付ける。 ・マクロの記録機能を用いて、手続きの自動化の考え方と方法を身につける。 現代のビジネスの実例を通して、ビジネスにおけるICT活用の基本的な知識を習得する。	

6	12	(1) 情報化社会とビジネス (2) ネットワークとビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスと情報の関係、企業において利用されているPOS・CRM・SFA・SCM・ERPなどの業務システムを学び、ビジネスにおける情報活用の基礎的な知識を習得する。 ・ネットワーク社会における新しいビジネス形態の進展やその課題について学び、これに主体的に対応する態度を身につける。 	期末 考査
7	8	1. 情報通信ネットワークの活用 (1) ネットワークの基礎	<p>ネットワークの構築についての基礎的な知識から、構築に必要なネットワークの設定方法、サーバの管理やセキュリティ管理などの技術を習得させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークを構築するためのハードウェアや有線・無線LANの概念、ネットワークアドレスやホストアドレスの設定に関する知識を理解する。 	
9	11	(2) ネットワークの構築と管理 (3) サーバ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク機器の導入手順やコンピュータ等の設定手順など、システムの構築や管理に関する基礎的な知識・技術を習得する。 ・ファイルの共有やアクセス権の設定などに加えて、認証サーバの管理に関する基礎的な知識や技術を習得する。 	全商 検定
10	11	(4) セキュリティ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティポリシーの設定やデータの保護など、セキュリティ管理やデータ管理の意義と役割を学び、ネットワークの安全性を維持するために必要な知識や技術を習得する。 	
11	11	4. データベースソフトウェアの活用 (1) ビジネス情報とデータベース	<p>身近なテーマをもとに、リレーショナル型データベースを活用して、データベースの検索機能についての知識や技術、データベースを操作するためのSQL言語を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースの特徴や基本的な機能について、身近な例を通して理解する。 	期末 考査
12	10	(2) データベースの利用 (3) SQLの操作	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの設計と作成、関数を利用した報告書の作成、手続きの自動化など、データベースの実践的な活用のための知識、技術を習得する。 ・SQLを用いた汎用的なデータベースの操作方法を習得する。 	
1	10	5. ソフトウェアを活用したシステム開発 (1) システム開発の基礎 (2) アルゴリズムの基礎 ○検定試験対策	<p>ビジネスに関連した情報システムの開発について、基礎的な知識と技術を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム開発における代表的な開発モデルと、ユーザインタフェースなどに配慮した開発手法について、基礎的知識を理解する。 ・処理を自動化するとき、処理の流れを整理するためのアルゴリズムについて、基礎的および応用的な手法を習得する。 ・模擬試験問題集や検定試験過去問題等を活用して、検定試験のまとめ学習に取り組む。 	全商 検定
2	10	(3) 表計算ソフトウェアによる開発	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアのプログラミング機能を使用し、マクロ機能を用いた開発の基礎を習得する。マクロの記述によって、「繰り返し」や「判断」などの応用的な処理を自動化するための手法を習得する。 	
3	3	(4) データベースソフトウェアによる開発	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースソフトウェアを利用し、設計書に基づいて実際にシステムを構築する手法を身につける。 	

